

人間文化研究機構

現状：

- ・ nihuiNT（人間文化研究機構に属する 6 機関と本部の成果を入れたデータベース）からのデータのつなぎ
- ・ 国立歴史民俗博物館：総合資料学の創成→大学や歴史系博物館の歴史資料
(国文学研究資料館：歴史的典籍ネットワーク事業→いわゆる歴史的典籍)
これらのデジタルデータから繋いでいくことを検討

課題：

データ化の促進

データクレンジングの重要性

→各機関のデータを集めてみて データの統一性が取れない マッピング以前の問題

「データがわかる」人（≠プログラマ ≡システムがわかる ≡それぞれのアーカイブする業界の状況がわかる）を育てる必要性 例えばオンザジョブ形式等で、各アーカイブ機関等でデータを作成できたり、クレンジングできる人を育てるなどを検討できるとよい データの良さがアーカイブの良さにつながるのではないか